

◆◆◆ 平成20年の梅雨入り・明け

―梅雨末期に北陸等で大雨―

気象庁では、毎年、9月に、梅雨の前後を含めた天候の推移をも勘案して、全国の梅雨入り・梅雨明け時期の確定及び梅雨の特徴のとりまとめを行っており、今年の梅雨についてはその発表が、9月1日（月）に以下の概要のようにありました。

❖梅雨入り

沖縄・奄美と東北ではかなり遅く、東日本と西日本ではかなり早い梅雨入りとなった地方が多かった。

❖梅雨明け

早い梅雨明けとなったところが多かったが、北陸と東北ではかなり遅かった。北陸、東北地方は梅雨明けの速報を発表した後も前線の影響により大雨が発生したことから、この影響の解消をもって梅雨明けとした。

❖梅雨前線

梅雨前線は、5月と6月は日本の南の海上に停滞することが多かった。7月は平年に比べ活動が弱かったが、下旬には北陸から東北にかけて停滞し、局地的な大雨となったところがあった。

❖降水量

降水量は、6月は九州南部、関東甲信でかなり多く、東北南部でかなり少なかったが、その他は平年並のところが多かった。7月は東日本と西日本でかなり少なかった。

（気象庁のホームページより）